

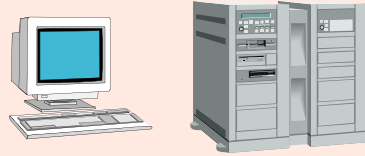
平成24年行政事業レビューシート (警察庁)

<b>事業名</b>	電波を活用した安全運転支援システム及び簡易版安全運転支援システムの実証実験		<b>担当部局</b>	交通局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度		<b>担当課室</b>	交通規制課		交通規制課長 和田 昭夫		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	4 安全かつ快適な交通の確保				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	新たな情報通信技術戦略				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	警察が推進する安全運転支援システム(DSSS)について、路車間通信に電波を併用するシステムの導入を検討するとともに、より安価に導入できる簡易型装置の設置・運用の検証事業を行う。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	DSSSのうち、刻々と変化する車両や人の交差点通行状況に応じた情報提供が必要となる「右・左折衝突防止支援システム」や「歩行者横断見落とし防止支援システム」をより効率的・効果的なものにするため、路車間通信に電波を併用するシステムの導入を検討するとともに、平成22年度にパイロット事業として実用化されている「追突防止支援システム」等について、警察本部の交通管制センター中央装置と接続しない簡易版システムを実験的に整備し、中央装置の増設改修なしにDSSSの整備を可能とするための仕様を確定する。							
<b>実施方法</b>	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	76	-	
		補正予算	-	-	-	0	/	
		繰越し等	-	-	-	0	/	
		計	-	-	-	76	-	
	執行額	-	-	-	/	/		
執行率(%)	-	-	-	/	/			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	(成果目標) 電波を活用したシステム及び簡易版システムの実証実験		成果実績	報告書数	-	-	-	1
	(成果実績) 効果検証は平成25年度に実施予定		達成度	%	-	-	-	/
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	システム整備数		活動実績 (当初見込み)	式	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	機器購入等	76		25年度要求なし				
	計	76	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	H21年度に実施した交通安全に関する国民の意識調査によると、国民の9割近くの人が、道路交通事故をゼロにすべき、あるいは、大幅に減少すべきと考えている。との結果が得られており、国民の道路交通事故のない社会を目指すニーズは高く、安全運転支援システム整備に関する事業は優先度の高い事業である。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	安全で快適な交通環境を実現する施策を検討する上で有効な実証実験であり、安全運転支援システムの適用範囲拡大と整備を促進するために必要となる実効性の高いものである。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>本件については、未執行である。 事業の成果目標については、適切に設定されている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>事業の執行に当たっては、競争性を確保した調達を行うなど、執行額の削減に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	<p>特になし(25年度要求なし)</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新24-4

# 簡易版DSSSの概要

従来のDSSS

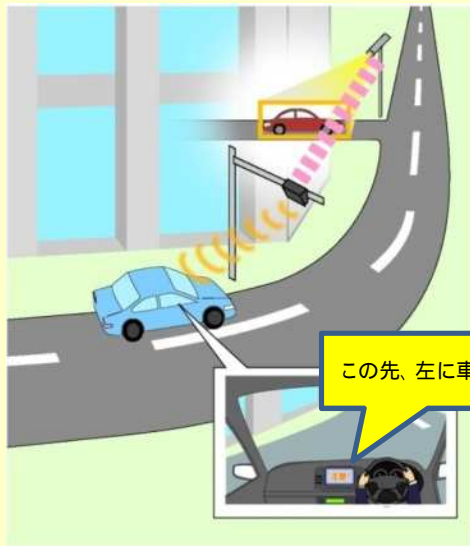


交通管制センター

交通管制センターシステムの  
中央装置と接続



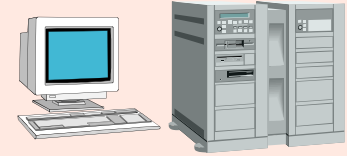
新規整備には中央装置の大  
規模な増設改修が必要



この先、左に車あり

(例) 出会い頭衝突防止  
支援システム

簡易版DSSS

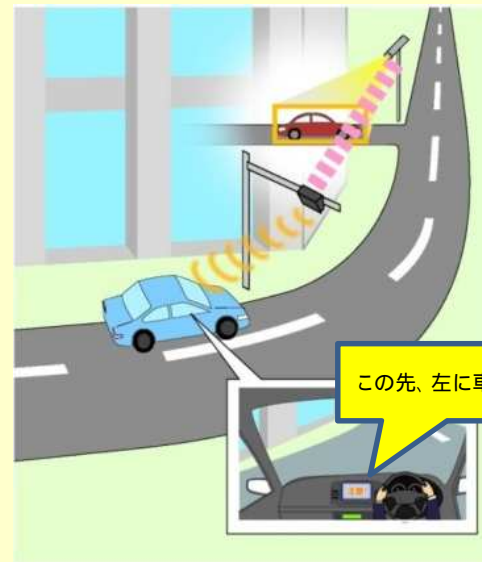


交通管制センター

交通管制センターシステムの  
中央装置と接続不要

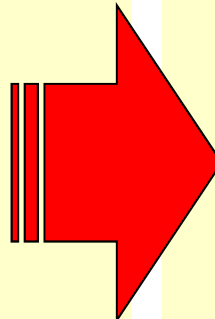


中央装置の増設改修なしに  
一式から整備することが可能



この先、左に車あり

(例) 出会い頭衝突防止  
支援システム



# 電波を活用したDSSSの実証実験

左折時衝突防止支援  
右折時衝突防止支援  
歩行者横断見落とし防止支援

歩行者横断見落とし防止支援

右折時衝突防止支援

左折時衝突防止支援

